

「福島原発震災に関する研究フォーラム」

本年度の活動報告

共同世話役 清水 奈名子・高橋 若菜

本フォーラムは、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターのプロジェクトの一つであった、福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP：2011 - 14年度）を2015年に改組したものです。フォーラムのメンバーは、2011年3月の東日本大震災以降に実施してきた福島原発震災の被災者支援・調査活動をもととして、福島原発震災が社会にどのような影響を及ぼしたかを構造的な視座から捉え記録し、社会に広く公表・発信していくことをめざしています。また、原発震災による被災者の困難は長期化していることをふまえ、現実の政策課題の提言につながるような研究をめざしています。

2016年度は出版、学会報告、招待講演等でこれまでの研究蓄積を積極的に社会に発信してきたほか、福島県からの避難者や福島県外の被災者を対象にした調査活動を続けました。

メンバー

共同世話役：清水奈名子・高橋若菜

アドバイザー：重田康博

メンバー：阪本公美子・田口卓臣

関係団体：FnnnP Jr

学外連携者：原口弥生（茨城大学）

西村淑子（群馬大学）

※新規メンバーの参加を、随時、歓迎しております。

研究分野

1. 栃木県内の被災者・市民社会研究グループ：清水
2. 新潟県内の被災者・広域避難支援研究グ

ループ：高橋

3. 教育・発信グループ：阪本・重田・清水・高橋・田口

活動内容

研究会・シンポジウム開催、研究調査、論文公表、学会発表、出版など。

予算

科学研究費補助金 基盤C「広域災害支援におけるフロネシスの継承に関する学際的研究～新潟県を事例として」（平成27-29年：研究代表者：高橋若菜）

科学研究費補助金 基盤C「北関東の低認知被災地における住民活動と権利回復 —人間の安全保障論による分析—」（平成28-31年：研究代表者：清水奈名子）

第13回生協総研賞助成事情「原発事故後の健康を享受する権利と市民活動 —『関東子ども健康調査支援基金』による活動分析を中心として—」（平成28-29年：研究代表者：清水奈名子）

<研究会開催>

福島被災者に関する新潟記録研究会

日時：2016年7月23日（土）9時～12時

場所：万代市民会館

話題提供：植木信一（新潟県立大学人間生活学部子ども学科准教授）／小海五月（南相馬市子ども支援プログラムスタッフ）

話題：「南相馬市での子ども支援～中越地震から中越沖地震、そして東日本、熊本へ」

<意見交換会開催>

公開講座・意見交換会

日時：2016年7月7日（木）10時～12時半

場所：宇都宮大学峰キャンパス

話題：「原発事故後の健康と暮らしを考える」

講師：崎山比早子（高木学校）

福島大学・宇都宮大学・栃木避難者母の会の意見交換会

日時：2016年12月17日（土）13時～15時

場所：宇都宮大学峰キャンパス ラーニングコモンズ4

福島大学未来創造教育論の4名の教員と5名の学生たちによる、栃木県自主避難者への質問・意見交換会

<公開シンポジウム>

宇都宮大学・福島大学・茨城大学主催シンポジウム

「地域の課題に対して大学はどのように向き合うか —多文化共生と原発震災—」

日時：2016年11月13日（日）13時～17時

場所：大学会館・多目的ホール

第2部 原発震災に向き合う地域

司会・コメント 原口弥生（茨城大学）

基調講演 「原発避難と創発的支援」高橋若菜
実践報告 FnnnPJr 中村果南子

コメント 重田康博・清水奈名子

<出版>

佐藤嘉幸×田口卓臣対談「脱原発への道 民主主義のあり方を変えるために——『脱原発の哲学』（人文書院）を手がかりに」
『図書新聞』新年特大号、2017年1月1日号、1面、2面、3面。

清水奈名子（2016）「甲状腺検査を求める福島県外の被災者たち ——栃木県からの報告——」『科学』2016年8月号、810-813頁。

清水奈名子（2016）「栃木県における原発事故被害と支援ニーズの分析 ——被害者アンケートと聞き取り調査から——」（原子力市民委員会第一部会（2016）『原子力市民委員会特別レポート3 「人間の復興」に必要な医療と健康支援とは？～原発事故5年、いま求められていること～』13-24頁）。

清水奈名子「原発事故後の健康を享受する権利と市民活動 ——『関東子ども健康調査支援基金』による活動分析を中心として——」（生協総合研究所（2017）『生協総研賞・第13回助成事業研究論文集』42-48頁・2月刊行予定）。

Takahashi, Wakana "Nuclear Evacuees in Fukushima Prefecture's Five Neighbouring Prefectures, proceedings of IAIA (International Association for Impact Assessment) 16, May 16, 2016, Nagoya, Nagoya Congress Center. (refereed) <http://conferences.iaia.org/2016/FinalPapers/Takahashi,%20Wakana%20-%20Nuclear%20Evacuees%20in%20Fukushima%20Prefecture's%20Neighbouring%20Prefectures.pdf>

Takahashi, Wakana, (2016) "The Divided Fate of Victims after the Fukushima Nuclear Power Plant Accident," in Kaneko, Y. et eds. Asian Law in Disasters: Toward a human-centered recovery, Routeledge, chapter 10.

高橋若菜監修、田口卓臣、松井克浩編著、『原発避難と創発的支援——活かされた中越の災害対応経験』、本の泉社、2016年5月、全216頁。

<学会発表>

Takahashi, Wakana "Nuclear Evacuees in Fukushima Prefecture's Five Neighbouring Prefectures, presented at IAIA (International Association for

Impact Assessment) 16, May 16, 2016, Nagoya, Nagoya Congress Center.

<招待講演>

佐藤嘉幸×田口卓臣講演会「トークライブ 科学批判から脱原発の哲学へ」（東京八重洲ブックセンター本店8階ギャラリー、人文書院・講談社共催、2016年4月8日（土）19:00～20:30）

Yoshiyuki Sato, Takumi Taguchi, et al., *Journée d'études: « L'état d'exception après Fukushima : société, politique, poétique », le 9 avril 2016 (samedi). Intervenants = Thomas Brisson (Univ. Paris VIII), Hervé Couchot (l'Univ. Jyôchi), Christian Doumet (Univ. Paris IV), Michaël Ferrier (Univ. Chûô), Satoshi Ukai (Université Hitotsubashi).* (佐藤嘉幸、田口卓臣他、「フクシマ以後と例外状態——社会、政治、ポエジー」、国際研究集会、日仏会館、2016年4月9日（土）／パネリスト＝トマ・ブリッソン（パリ第八大学）、エルベ・クッショ（上智大学）、クリスティアン・ドゥメ（パリ第四大学）、ミカエル・フェリエ（中央大学）、鶴飼哲（一橋大学）／司会：小川美登里（筑波大学））

佐藤嘉幸、田口卓臣、小出裕章他、「『脱原発の哲学』合評会＋小出裕章講演「熊取6人組と批判的科学」（慶応義塾大学三田キャンパス南館4階、2016年11月11日（金）18:00～21:00／ディスカッサント＝西山雄二、渡名喜庸哲、岩田渉。

清水奈名子「栃木県における原発事故被害と支援ニーズの分析 ——被災者アンケートと

聞き取り調査から——」原子力市民委員会公開フォーラム、2016年6月12日、文京シビックホール（東京都）。

清水奈名子「低認知被災地としての栃木県と放射能汚染」情報交換会、2016年9月17日、大河原町中央公民館（宮城県）。

清水奈名子「原発事故被災者の健康に対する権利とその危機的状況—栃木県からの報告—」第6回市民科学者国際会議「チェルノブイリと福島の実現から」2016年10月7日（金）～10日（月）福島県男女共生センター（福島県二本松市）。

清水奈名子「栃木県北における甲状腺検査について」放射能から子どもを守る会塩谷主催「塩谷町フォーラム 塩谷町の決断&甲状腺エコー検査説明会」2017年1月14日（土）塩谷中学校アリーナ（栃木県塩谷町）。

<主なメディア掲載>

朝日新聞
 公明新聞
 月刊ガバナンス {書誌紹介}
 信濃毎日新聞
 下野新聞
 週刊読書人
 東京新聞栃木版
 図書新聞
 新潟日報（書評）
 毎日新聞
 読売新聞
 ル・モンド

<調査活動>（以下担当は清水）

2016年4月14日 ふくしまあじさい会（避難者による当事者団体）での避難者証言集への学生による感想の報告と聞き取り調査

Ⅱ 活動報告

- 2016年5月19日 福島県二本松市での帰還者聞き取り調査
- 2016年5月26日 栃木県議会平木ちさ子議員聞き取り調査
- 2016年6月12日 那須塩原市甲状腺検査会場でのアンケート調査
- 2016年6月16日 塩谷町見形町長へのインタビュー調査
- 2016年6月23日 矢板市斎藤市長へのインタビュー調査
- 2016年7月9, 10日 益子町甲状腺検査会場でのアンケート調査
- 2016年7月14日 日光市斎藤市長へのインタビュー調査
- 2016年9月7日 那須塩原市での避難者聞き取り調査
- 2016年9月10日 塩谷町での全国保養関係団体合会での聞き取り調査
- 2016年9月16-18日 宮城県内の放射能汚染地域の市民活動関係者聞き取り調査
- 2016年11月12・13日 塩谷町甲状腺検査会場でのアンケート調査
- 2016年12月4日 栃木県在住の子育て世帯への聞き取り調査
- 2016年12月13日 「栃木避難者母の会」にて避難者証言集への学生コメント紹介（宇都宮）
- 2017年2月18日 塩谷町での甲状腺エコー検査でのアンケート調査
- 2017年3月1日 福島県三春町の環境創造センター視察（予定）
- 2017年3月25日 群馬県でのエコー検査報告会への参加（予定）

以上